

平和を永遠に……

渡慶次小学校 六年二組 山内 萌生

今から約六十七年前、沖縄でとても悲しい出来事がありました。それは、「戦争」です。

この戦争で、幼い子供からお年寄りまで、とてもたくさんの方々の命がなくなりました。

「戦争」というたった2文字の言葉があるために、多くの方々の命がなくなりました。もうのです。

1

「戦争」は、多くの方々の命と、その人々

の将来、夢、希望、そのすべてをうばっていただくのです。

私が住んでいる、この美しい沖縄で、こんな悲しい事があったなんて信じられません。

した。そして、戦争があった事を知った。とてもとても悲しかったです。

「戦争」は、多くの人々の命だけを「たの」ではなく、多くの自然や動物達の命など、

すべての物をうばっていきます。だから、こんな「戦争」は二度と起こさな

い、人々の殺し合いのない、そんな平和な世界を作っていたみたいです。この間、前の校長先生が私達にこう言ってくれました。それは、「ケンカも、小さい戦争なんだよ。そのケンカが大きくなって、国どうしのケンカが戦争なんだよ。私達は、校長先生の話を聞いて、一人一人相手の意見を聞き入れるよくなやさしい心を持つようになれば、平和な世の中を作っていけるのかなと思います。

私は、戦争という物から、ある事を学びました。それは、「命の大切さ」です。私がここにいるのは、お父さんお母さんがいたから。そして、お父さんお母さんのそのまたお父さんお母さんがいたから。今の私がいるのです。私の祖先が、だれか一人でもいなければ、たら私は今ここにいません。そう考えると、この命がとても大切に思えてきました。この気持ちが、この世界の人が持つていれば、戦争は絶対に起こらないと思います。

だから「命の大切さ」をこれからの人々に
 伝える事で、戦争のない平和な世の中になる
 と思います。

人々の殺し合いのない世にするため、私達
 に出来ることはたくさんあります。..
 多くの人が戦争でなくなりました。だから
 その命を忘れてはいけません。このような..
 悲しい戦争という言葉がなくなるように、世
 界の平和がえいえんに続くようにしていきた
 いです。

戦争をなくすのは、私達だから。